

1 内政

新ポンペイ州知事及び同副知事及び第10期ポンペイ州議会議員の就任宣誓式が実施される

13日、パリキールにて新しいポンペイ州知事及び同副知事及び第10期ポンペイ州議会議員の就任宣誓式が行われた。詳細は往電第36号を参照。

（カセレリエ紙）

Information Technology & Supporting Services 部門の創設

13日、パニュエロ大統領は運輸・通信・インフラ担当省の下部組織として、Information Technology & Supporting Services を設置した。11月22日を以て、FSMのIT政策の策定やIT支援サービスの集中化、国民への情報公開等を促進させることを目的としている。

（カセレリエ紙）

第11期ポンペイ州議会によるはじめての定例議会が開催

13日、第11期ポンペイ州議会のはじめての定例議会が開催され、Ausen Lambert 議員（議長）、Stevic Edwin 議員（副議長）、MacGarry Miguel 議員（院内総務）に選ばれた。

（カセレリエ紙）

ソケース在住の男が妻に暴力をふるい死亡させる

21日、ポンペイ州検察は、ソケース在住の Bransih Resepwil を同人妻の Swihter Roby of Dolon に激しい暴力を振るい死亡させたとして逮捕した。19日夜、同人妻の治療にあたった病院が不審に思い、警察に連絡があったもの。同人妻は21日に死亡した。容疑者は容疑を否認している。

（カセレリエ紙）

第4回憲法会議メンバーによる大統領への報告

22日、第4回憲法会議のメンバーは、これまでの会議での審議内容を大統領に報告し、また、国民に対する公聴会を開始するタイミングを待っている。2月中に再度会議が招集される予定であるが、これまでに憲法改正に関わる60の提案が上がっている模様。

(カセレリエ紙)

パニュエロ大統領、新型コロナウイルスに関する緊急事態宣言を発出

31日夜、パニュエロ大統領は憲法第11条セクション6に基づき、以下の非常事態宣言を発した。

(1) コロナウイルスが効果的に抑止されたと確認されるまでの間、すべてのFSM国民の中国本土及びその他の感染された国、地域への渡航を禁ずる。

(2) FSMに居住する外国人に対して、不必要な中国本土及びコロナウイルス感染国、地域への渡航の延期を強く勧める。

(3) 2020年1月6日以降、直接または間接、空また海利用を問わず、中国本土からの旅行者のFSM入国を禁止する。

(4) コロナウイルス汚染国、地域からの旅行者によるFSMへの入国は、非感染国、地域で、FSMへの入国直近の少なくとも14日間を滞在した者以外の入国は認めない。

(5) FSM連邦政府はこの決定を効果的なものとするため保健省を中心としたタスクフォースチームを結成した。

詳しくは往電第63号を参照。

(31日付 大統領府HP)

使い捨ての発砲スチロール材、プラスチック製の食品容器や同ショッピングバッグの輸入禁止

7日、ミクロネシア連邦大統領府は、現在開会中の第21期連邦議会において環境保護を目的として採択された「Public Law No. 21-76「An act to prohibit the importation of one-time-use disposal styrofoam, plastic food service items, and Plastic shopping bags」に署名し、本年7月1日以降、使い捨ての発砲スチロール材、プラスチック製の食品容器や同ショッピングバッグの輸入が禁止されることとなった。

詳細は往電第106号を参照。

(カセレリエ紙)

2 外交

パニュエロ大統領、ゲレーロ・アム準州知事と会談

14日、パニュエロ大統領はポンペイに来訪したレオン・ゲレーロ・グアム準州知事と、コンパクトの修正や投資、地域観光等の幅広い事項に関する意見交換を行った。

(カセレリエ紙)

ミルバーン豪州海軍中佐の離任と後任のペリー同中佐の着任

17日、豪州大使館と豪州海軍は、離任するミルバーン海軍中佐と後任のペリー海軍中佐の歓送迎会を実施した。ミルバーン中佐はFSMの海洋環境のアドバイザーとして活動した。

(カセレリエ紙)

ライリー米大使による離任レセプション、カンター新大使の着任

23日、離任するライリー米大使の離任レセプションがポンペイ州にある米大使公邸で開催され、エリエイサー外務大臣他が出席した。後任大使にはプエルトルコ系の Carmen Cantor 女史が着任し、31日に大統領に対して信任状を捧呈した。

詳細は往電第42号を参照。

(カセレリエ紙)

黄中国大使夫妻主催の中国春節祝賀レセプションが開催

25日、コロニア市内のホテルにて黄中国大使夫妻主催の中国春節祝賀レセプションが開催され、ジョージ副大統領、エリエイサー外務大臣他が出席した。

詳細は往電第48号を参照。

(中国大使館HP, カセレリエ紙)

3 経 済

監査により、グアムの FSM 領事館は2016年の監査勧告の大半を実施していないことが判明

14日、国家監査局は10項目の改善をグアムの FSM 領事館に勧告していたが、実施されていないことが判明した。主な勧告は次のとおり。

1. グアム、マーシャル諸島、パラオに在住する FSM 国民のために事務所の機能が十分に果たされているかを決定するため、領事館の人員配置レベルを評価すること
2. 総領事は、職員が公務で利用した個人用車両の燃料費払い戻しを管理する内部統制を開発すること
3. 能力指標を設けること
4. 職員に期待される責任を明文化すること
5. 領事館職員に対し、領事館の責任に関する研修へ参加するよう要求すること
6. 法律に基づき、月次活動報告書及び年次活動実績報告書を提出すること

7. 領事館職員に規則若しくはガイドラインを書面で提示すること
8. 外務省は領事館の設立を示す大統領令を再検討し、領事館の義務、役割、責務、全体の機能に関して明確に定義すべきである

(カセレリエ紙)

チューク州、米連邦政府の助成金による20件以上の案件に関して支払予定の資金を追跡及び回収していない。

31日、チューク州の公的監査により、同州の財政基金部門が2016年～2018会計年度の米国政府資金プログラムに関する396,000米ドル以上が回収されていないことが発覚した。プログラムには、特別教育、薬物乱用及び精神の健康、包括的がん対策が含まれる。これにより、運用予算の確保を目的として現地予算が失われる可能性がある。

(カセレリエ紙)

4 経済協力

考古学者、世界遺産であるナンマドールの持続可能な保全計画策定に尽力

18日、CSRМ基金は、ナンマドール世界遺産の持続可能な保全計画とその実行に向けて、コーメン博士とその息子を調査及び遺跡の復元のため派遣した。彼らが当地を訪れて1年が経過したが、FSM と協力の米国国務省大使基金の文化保存助成プログラムの下、更に4年間滞在する。

(カセレリエ紙)

5 文化・教育

デイジー・ミクロネシア短期大学学長の離任レセプション

15日、8年間にわたりミクロネシア短期大学学長として努めたジョセフ・デイジー学長の離任レセプションがコロニア市内のホテルにて開催された。

詳細は往電第23号を参照。

(カセレリエ紙)